

これが若者の声だ!!PART2

私たちの生活実感

- ・保険料の値上げも控えており、私たちの支出はさらに上がっていく。人権尊重企業ならば、生活に苦しむ社員のために年末手当満額回答はできるはずだ!
- ・家族持ちの方の話を聞くと本当に大変そうだと感じる。これから家族を持ちたいと思えなくなりそう。
- ・物価上昇が続く中で賃金が上がらない。生活は苦しくなる一方だし、生活が豊かになる兆しが一向に見えない。
- ・物価上昇により、毎月カツカツのためボーナスで補填をしている状況である。
- ・会社は生活実感を受け止めていない。社長会見等からも、一切「生活実感」という言葉が出てこなくてガッカリした。
- ・趣味や娯楽などに使うお金も足りなくなり、十分満足できているとは言えない。
- ・引っ越しや一人暮らしをしたいが余裕がない。
- ・現場に行った時の昼食など、外食をするにも値上がりしていて厳しい。
- ・モノの値段は上がっても賃金は据え置き。モチベーションは上がらない。
- ・食品の値上げも多く、少しでも安く買うためにいろいろ調べて、複数のスーパーに行ったりしている。
- ・生活スタイルを変えていないが出費がかさむ

私たちの労働実感

- ・突発の休日出勤対応も頑張っている。会社は休みの日は休めと言うが、勤務に穴が空かないように1日1日努力している。
- ・会社の赤字からか採用も増えない中、職場では人の補充もままならない。どのようにすれば、今いる人で仕事を回せばいいのかみんな考えながら業務している。そんな状況にも関わらず、企画業務もやらされ業務が逼迫している。
- ・人のやりくりが難しいにも関わらず、企画業務に挑戦しろ、応募型の異動にチャレンジしろと言う会社は、現場のことをホントに考えていないと感じている。
- ・どれだけ働いても賃金に反映されないので、正直モチベーションを保てない。それでいてやることだけ増えている。
- ・統括センターで乗務をしながら駅業務を行っている。改札で3時間立ちっぱなしから乗務に行くなど、負担が多い中で業務に望んでいる。
- ・乗務効率が明らかに高くなり、乗務キロも大幅に増えている。
- ・PT やインフォーマル活動も盛んになり、本来業務との垣根も見えにくくなっている。
- ・組合員、社員の努力により黒字決算となっていることを会社は認識するべきだ!

私たちは、心身を削りながら日々の業務に臨み、黒字転換を担ってきた! 私たちの努力に報いるべきだ!

No.8 へ続く ➡